

ブロック会議アンケートについて

令和元年度「肝炎対策地域ブロック戦略会議」についてアンケート調査
ご多用になか令和元年度「肝炎対策地域ブロック戦略会議（以下ブロック会議）」にご参加いただきま
して、まことに有難うございました。お手数ですが、下記のアンケート調査へのご協力を宜しくお願い申し上
げます。尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただく場合がございます。
また、今後、ブロック会議の開催内容立案時の参考資料にさせていただきます。存じます。
ご記入いただいたアンケート調査票はお帰りの折りに受付にお出し下さい。

- 1) 施設・職種をお教え下さい () 自治体 () 拠点病院 () その他 (該当箇所に○を)
職種 ()
- 2) 現在の職種に就かれてからの経験年数をお教え下さい () 年
- 3) 本日の会議に参加されたご感想を以下の中からお選び下さい (該当箇所に○を付けて下さい)
- () 大変参考になった () 多少は参考になった () どちらともいえない
() あまり参考にならなかった () 全く参考にならなかった
- 4) 各発表内容についてご感想をお聞かせ下さい (該当箇所に○を付けて下さい)

テーマ	満足	やや満足	やや不満足	不満足
肝炎対策推進室からの説明				
肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する 研究に進捗報告				
肝炎情報センターからの説明 (拠点病院調査)				
事例報告 (拠点病院)				
事例報告 (自治体)				
総合討論				

- 5) 連絡協議会・研修会の所要時間についてお聞かせ下さい (該当箇所に○を付けて下さい)
- () 長過ぎる () やや長い () ちょうど良い
() やや短い () 短過ぎる () その他：(具体的に)

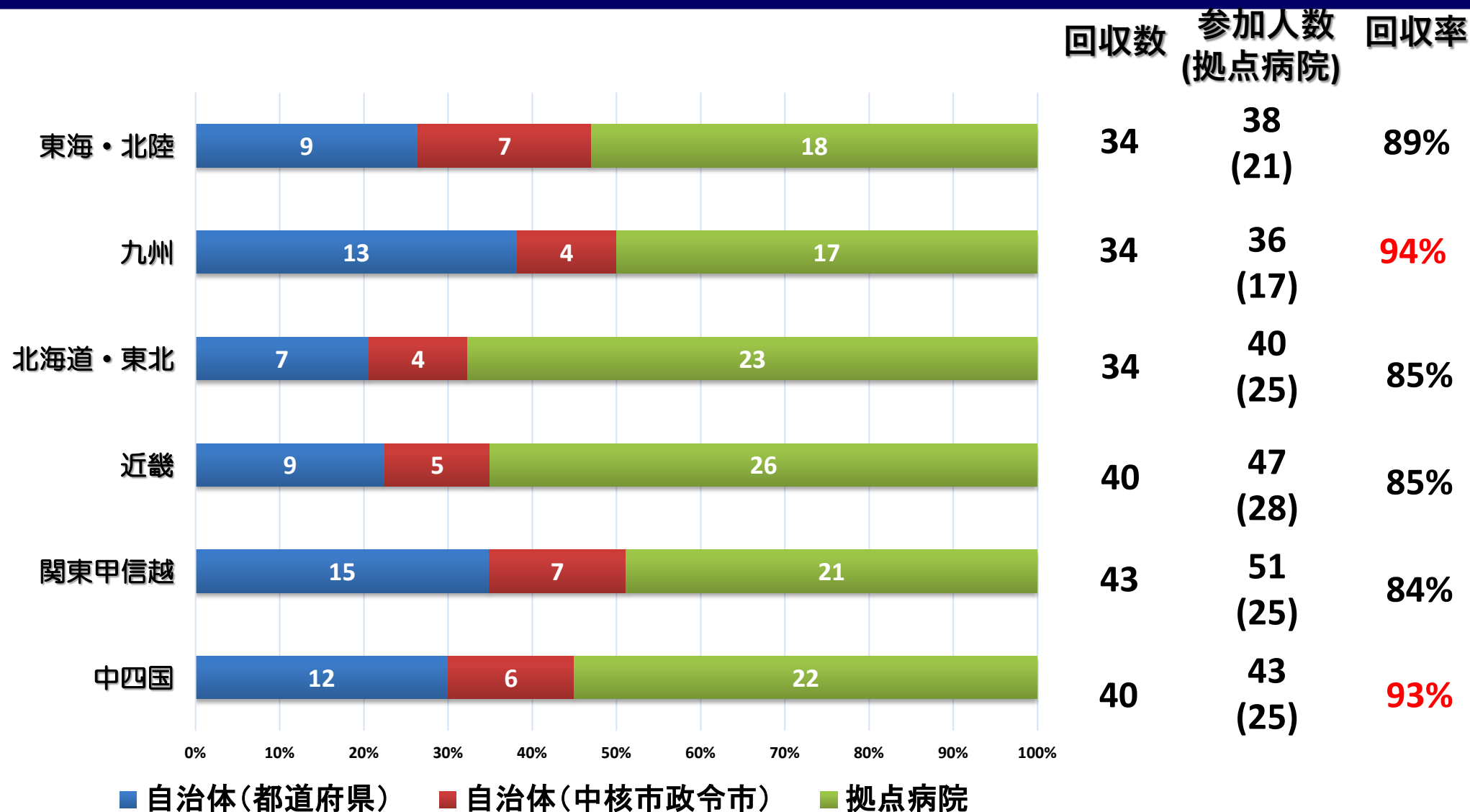
- 6) 各発表の時間配分についてご感想をお聞かせ下さい (該当箇所に○を付けて下さい)

テーマ	長い	丁度良い	短い	その他
肝炎対策推進室からの説明				
肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する 研究に進捗報告				
肝炎情報センターからの説明 (拠点病院調査)				
事例報告 (拠点病院)				
事例報告 (自治体)				
総合討論				

- 7) ブロック会議の開催場所についてお聞かせください (該当箇所に○を付けて下さい)
- () 世話人の所在地 () 集まりやすい場所で固定
() どちらでも構わない () その他：(具体的に)
- 8) ブロック会議の継続についてお聞かせください (該当箇所に○を付けて下さい)
- () 現行内容継続 () 継続しなくてよい
() 内容を変更して継続 (具体的に)
() その他 (具体的に)
- 9) ブロック会議で取り上げて欲しい内容があれば○をつけてください (複数回答可)
- () 別ブロックからの報告 () 自治体からの意見・取り組み
() 更なる交流 (懇親会等) () 他施設と連携した取り組み
() 肝炎患者に関する疫学 () 肝炎の病態評価指標
() コーディネーター養成・活用 () 自治体肝炎ウイルス検査・フォローアップ事業
() 薬害肝炎、B型肝炎訴訟 () 偏見・差別
() 肝がん治療助成 () ウイルス性肝炎の感染防止対策
() 職域での肝炎検査 () その他 ()
- 10) 肝疾患相談システムについてお聞かせください (自治体・拠点病院両方記載ください)
- a. 都道府県への相談件数の報告について
- () 定まった様式で報告 () 様式はないが件数だけ報告
() 報告なし () その他 ()
- b. 拠点病院調査項目内容での報告について
- () 可能 () 不可能
() わからない () その他 ()
- c. 相談内容について
- () 自治体・拠点で共有 () 拠点病院内で共有
() 共有していない () その他 ()

- 11) 今後、このような研修会を企画、運営するにあたって、ご助言をいただければ幸いです。

ブロック会議アンケート回収状況 -中四国・九州↑-



中四国は自治体参加者・九州は拠点参加者から全員回収
・東北近畿で自治体参加者減

肝炎対策地域ブロック戦略会議

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター主催

○平成28年度から新たに開始された会議

○参加者：拠点病院、都道府県・保健所設置市行政担当者、肝炎対策推進室、

○全国を①北海道・東北、②関東甲信越、③東海北陸、④近畿、⑤中国四国、⑥九州の6ブロックに分けて、肝炎対策に係る各地域での課題解決に資する情報提供、連携協力体制構築などに資する会議を開催するもの

2016年度（開催1年目）の展望として

- ◆ 「顔の見える会議」である利点を活かし、拠点病院、都道府県担当者、厚労省等の関係者に有用な情報を共有し、各地域における課題解決・連携強化へ貢献する会議運営に努めていく
- ◆ 総合討論の充実を図っていく

本年度の特徴：肝臓学会メディカルスタッフセッション

→自治体から発表可能では？ 討論では中核市からも意見を

第55回 日本肝臓学会総会 メディカルスタッフセッション 記録集

第55回 日本肝臓学会総会
メディカルスタッフセッション
記録集

会長 持田 智 埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科
会期 2019年 5月 30日(木)・31日(金)
会場 京王プラザホテル (東京都新宿区)

MEDICAL STAFF SESSION 2 MP 2-27

メディカルスタッフ セッション 2 MP 2-27 (口演発表 5 冊目)

ポスター⑦ 広島県肝疾患患者フォローアップシステム登録者に関する 集計解析結果

○杉山 文(やぎやま あや)¹、三野 恵実^{1,2}、鎌内 智子²、西田 ルリコ²、應利 卓治²、田中 純子¹
広島大学大学院医歯薬工学研究科医学・医療科学学・医療科学学、広島県健康福祉局医療課²

【目的】広島県では平成 25 年度より広島県肝疾患患者フォローアップシステム事業を開始し、肝炎ウイルスキャリアを適切な医療に繋ぐ支援をしている。本研究は広島県における肝炎ウイルスの感染状況、陽性者の受診動向を把握し、今後の肝炎対策事業の発展に寄与することを目的に、広島県健康福祉局医療課の協力の下、「広島県肝疾患患者フォローアップシステム登録者情報」の集計・解析を行った。

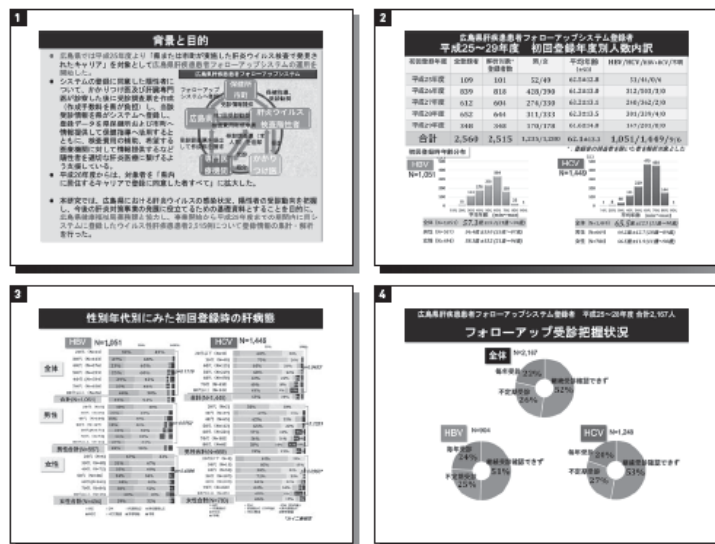
【方法】平成 25 年度から 29 年度までの全登録者 2,560 人のうち、登録後の辞退者を除いた 2,515 人を解析対象とした。広島県健康福祉局医療課が保管している登録者情報を連結可能匿名化後、広島大学において集計・解析を行った。登録者の継続受診把握状況に関連する因子について、ロジスティック多変量解析を用いて探索した。HBV では 8 項目 (年齢、性別、保険者、ALT、PLT、HBe 抗原、HBs 抗原、肝病態)、HCV では 7 項目 (年齢、性別、保険者、ALT、PLT、HCV genotype、肝病態) を説明変数とした。本研究は広島大学倫理委員会の承認 (E-1345) を得ている。

【結果】解析対象 2,515 人 (男性 1,235 人、女性 1,280 人、平均年齢 62.1±13.3 歳) のうち 1,051 人 (42%) は HBV 患者 (平均年齢 57.3±13.2 歳)、1,449 人 (58%) は HCV 患者 (平均年齢 65.5±12.3 歳) であった。初回登録時の肝病態は HBV 患者では無症状性キャリア (AC) 32%、慢性肝炎 (CH) 56%、HCV 患者では CH83% (SVR 後 CH21% を含む) であった。HCV genotype は 1 型 56%、2 型 27%であり、年代別にみると 30 代 (N=40) では 58%が 2 型であった。登録者の 22%は毎年受診、26%は不定期受診を把握されていたが、52%は継続受診を把握されていなかった。多変量解析の結果、「継続受診 (不定期受診を含む) を把握されていること」に関連する因子は HBV 患者では「CH (AOR3.0, p<0.0001)、肝硬変 (AOR3.2, p=0.0476)」、HCV 患者では「女性 (AOR1.6, p<0.0001)」であった。

【考察】広島県肝疾患患者フォローアップシステム登録者における継続受診の把握状況を明らかにした。HBV 患者では「初回登録時 AC」、HCV 患者では「女性」が、継続受診を把握されていないことに関連する独立した因子と考えられた。今後は「継続受診把握率」の向上に取り組むと同時に、「継続受診の有無と AC (HBV) の転帰の関連について検討」や、「登録者の死亡情報を把握したフォローアップシステムの有効性評価」を行う必要がある。

自治体セッション 36演題中11地域

青森県 岩手県
新潟県 埼玉県
千葉県 川崎市
岡山県 広島県
佐賀県
(福島県/群馬県
当日拠点より)



第56回肝臓学会総会特別企画 (10月10日から登録可能)

令和2年5月21日、22日 @大阪国際会議場

特別企画2 メディカルスタッフセッション

- ① 肝炎コーディネーター・肝疾患関連メディカルスタッフの取り組み
- ② 肝疾患医療行政の取り組み

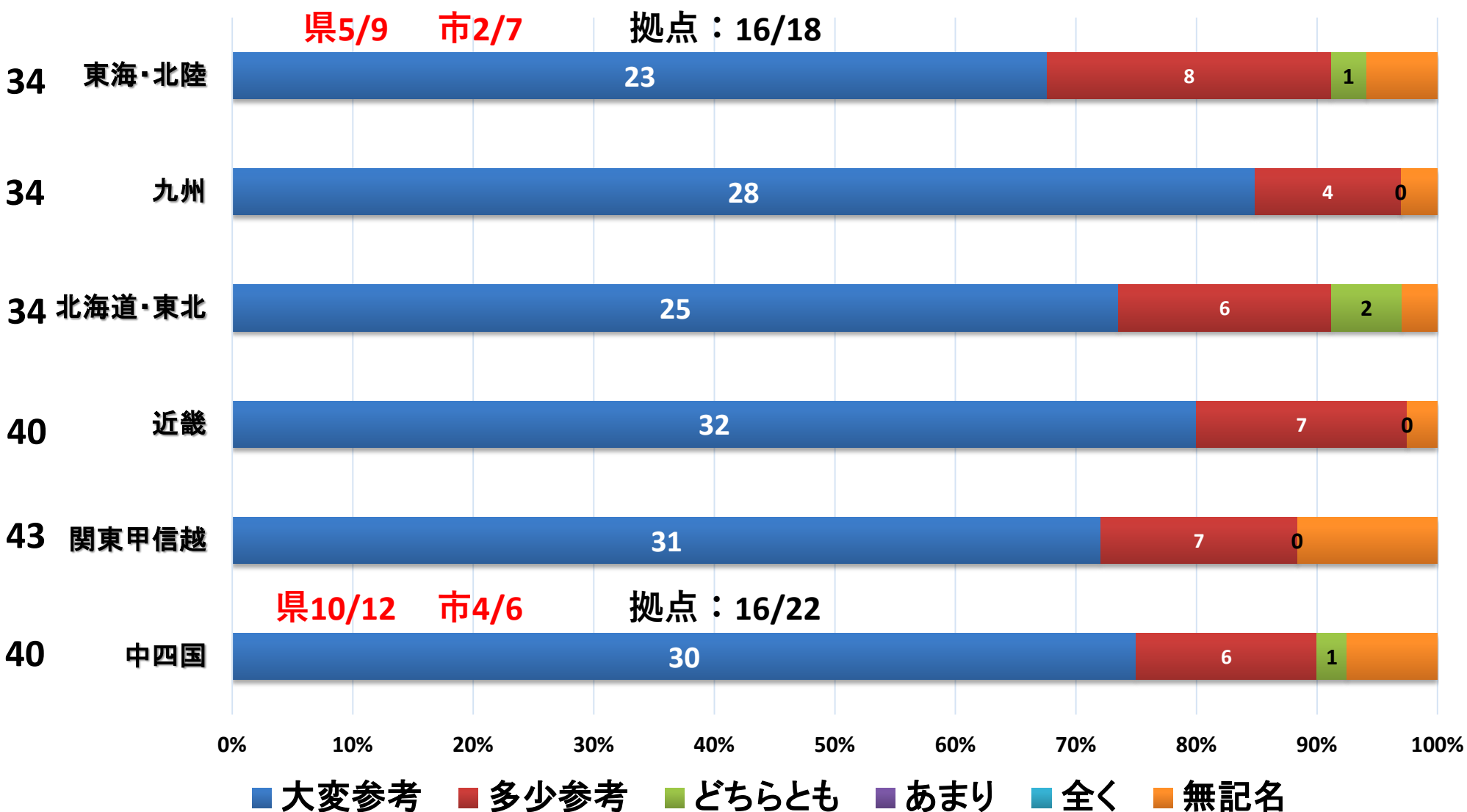
①が1日目（木）、②が2日目（金）

（大阪国際会議場12階グラントック:シアター150席）



② 22演題中13演題が自治体

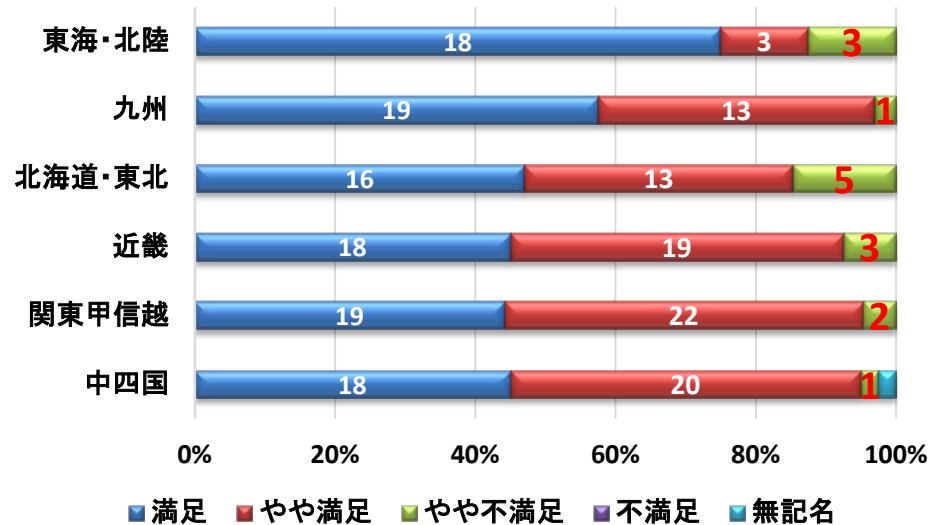
全体の感想 (東海北陸でやや低下→自治体特に市の満足度↓)



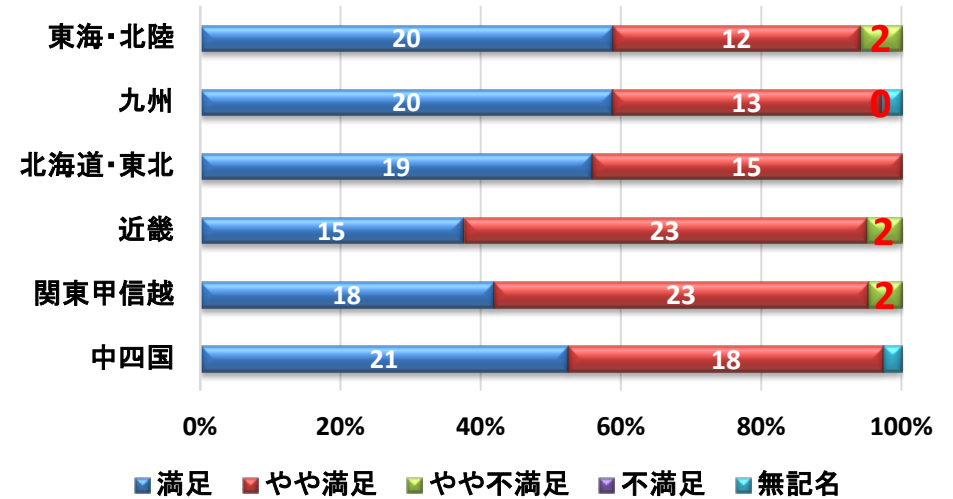
個別の感想（室・指標・拠点病院・疫学）

肝炎室は安定(一定数不満足者有)・その他は満足度が近畿・関東ブロックで低下

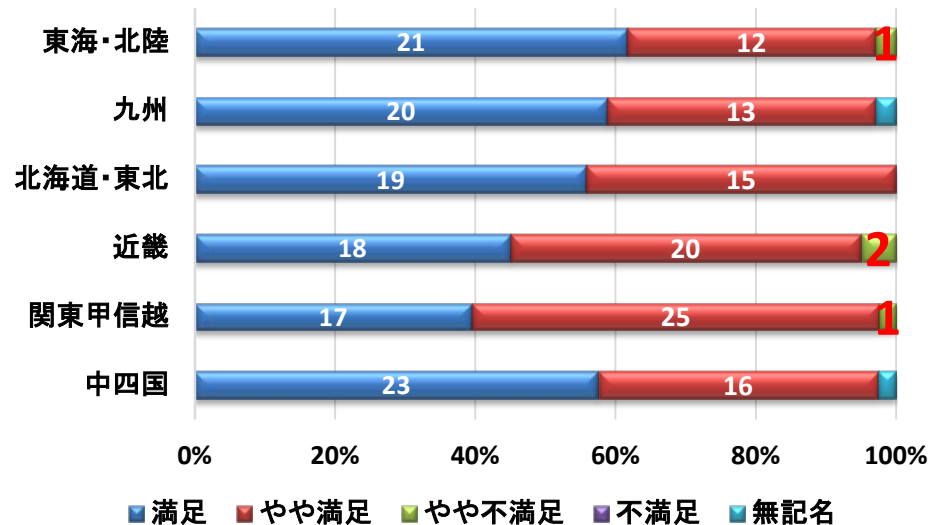
室



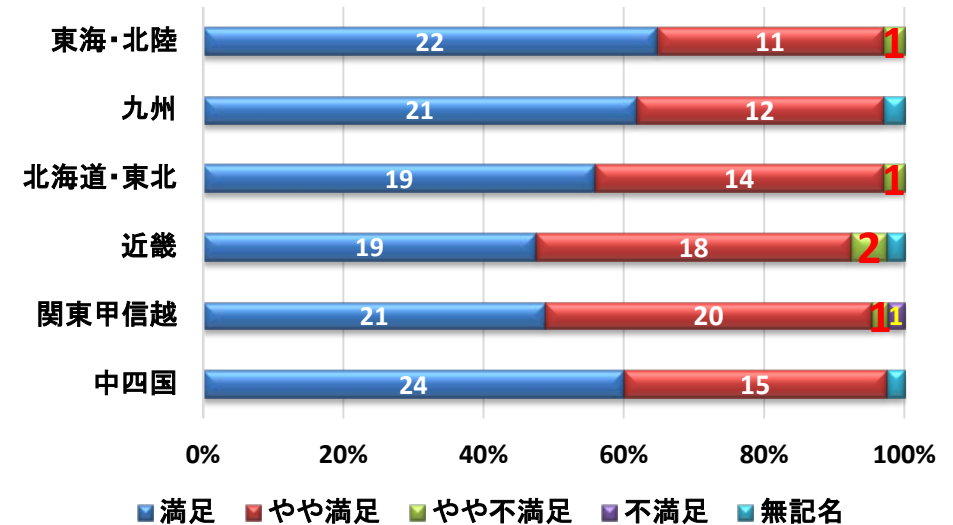
指標



拠点病院



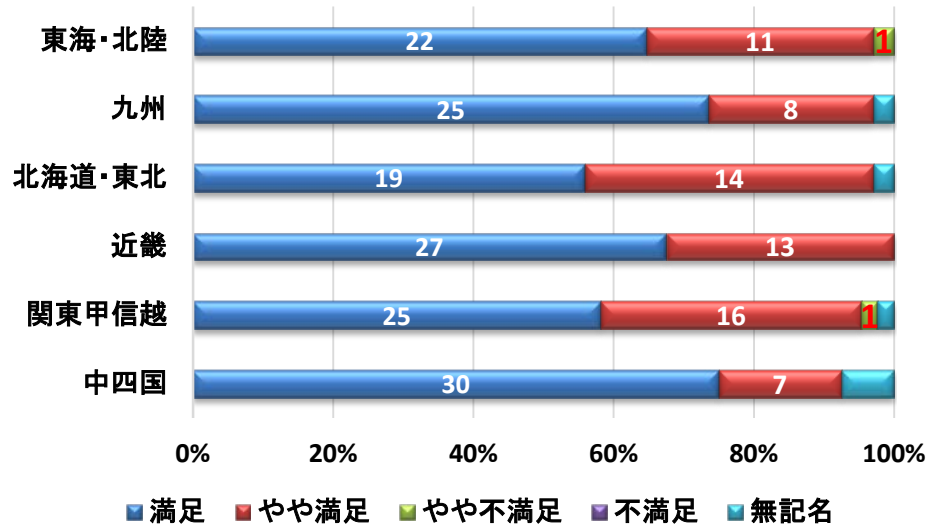
疫学



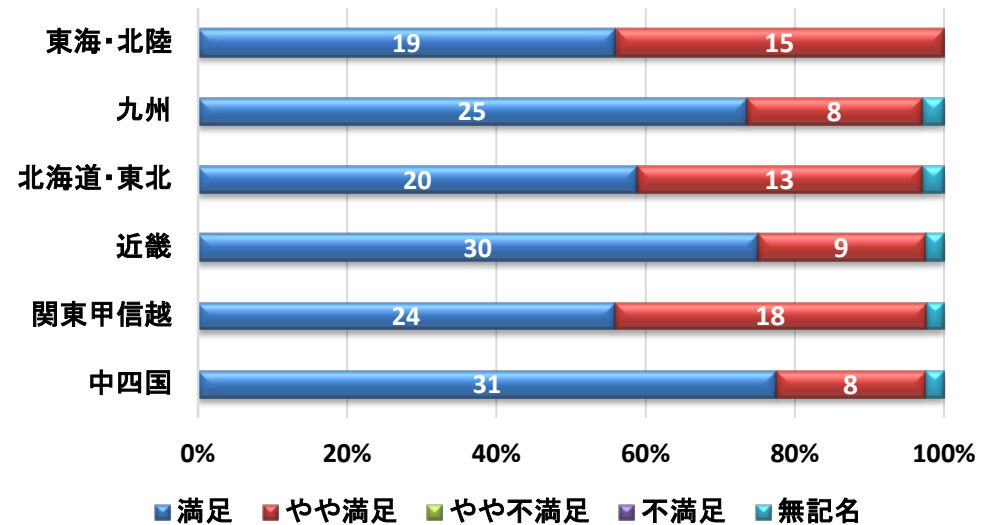
個別の感想（拠点病院事例・自治体事例・総合討論）

事例（拠点<自治体）良好（60%満足・不満足2票）・総合討論は無記名者が多い

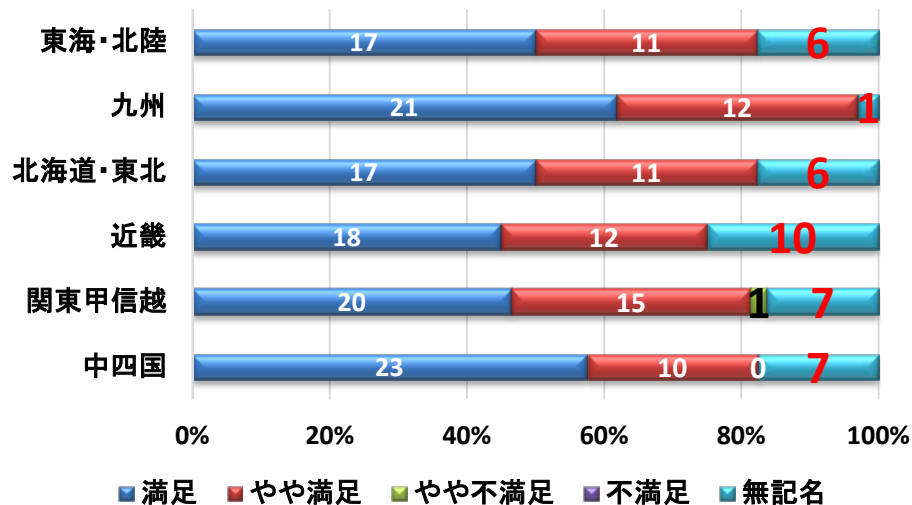
拠点病院事例



自治体事例



総合討論

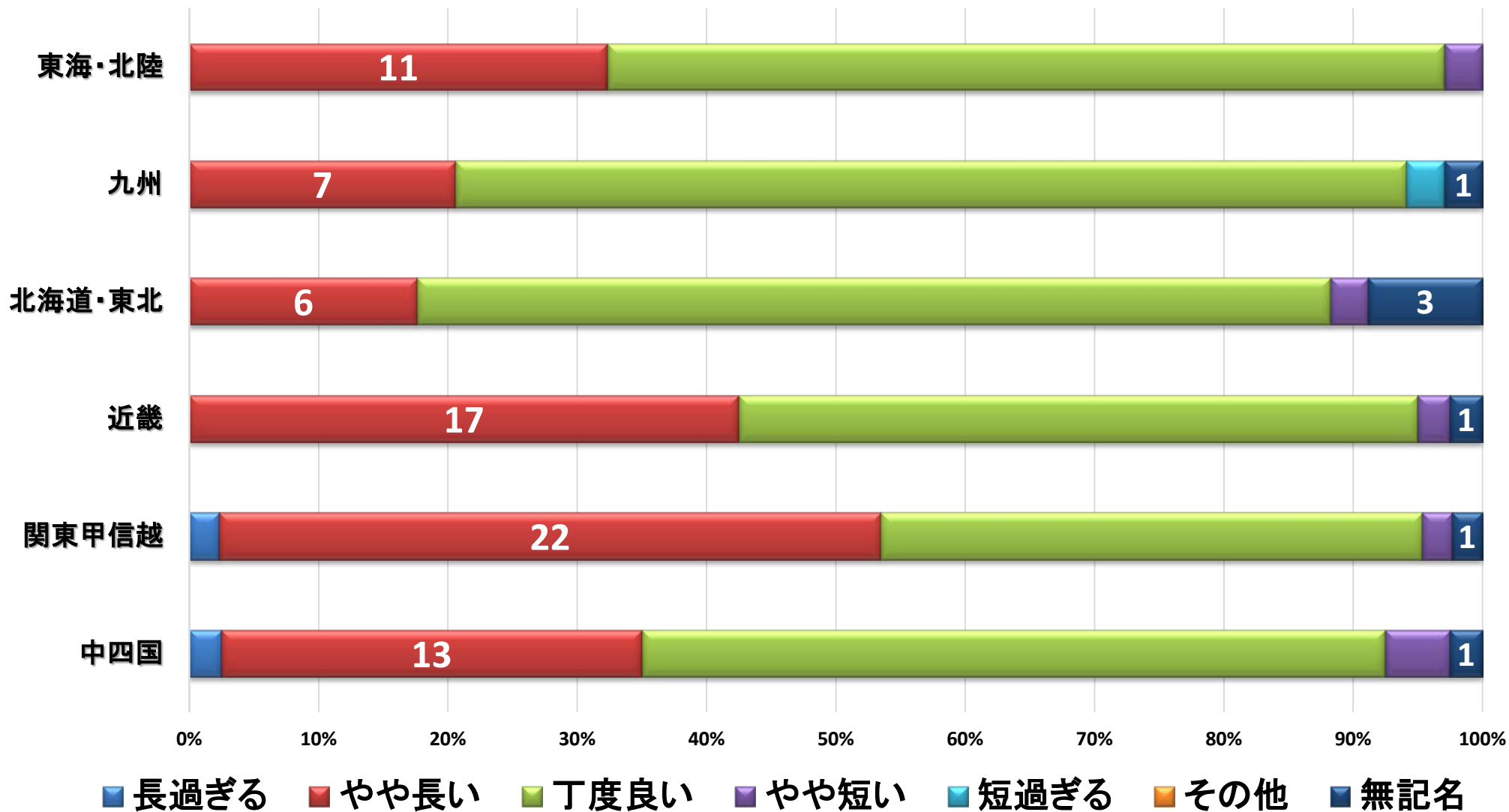


拠点病院・自治体: 中四国/近畿/九州↑
（中四国・九州はどのアンケートでも満足度高、その意味では近畿自治体事例は好評？）

総合討論：無記名者が多く、評価不可？
（九州地区は無記名一人で60%満足）

全体の時間

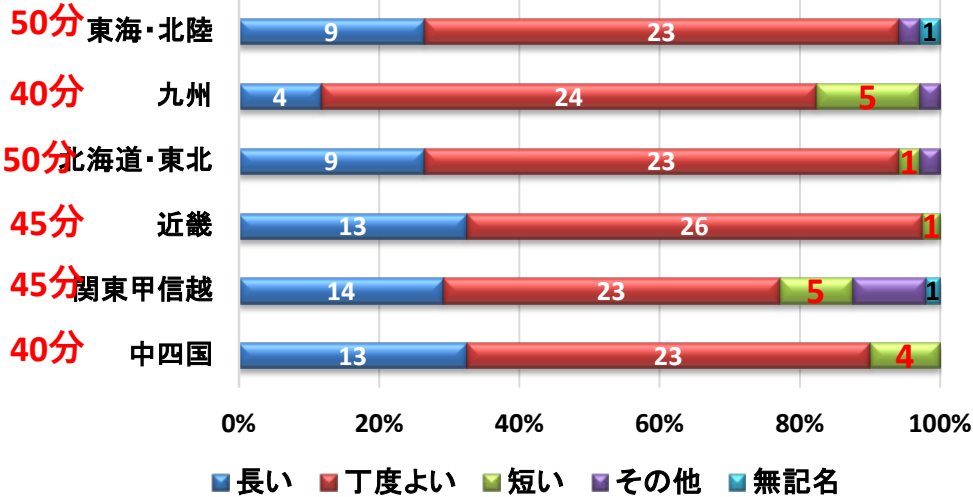
近畿・関東甲信越では「長い」との回答が40%以上・やや短いのは政令・中核市



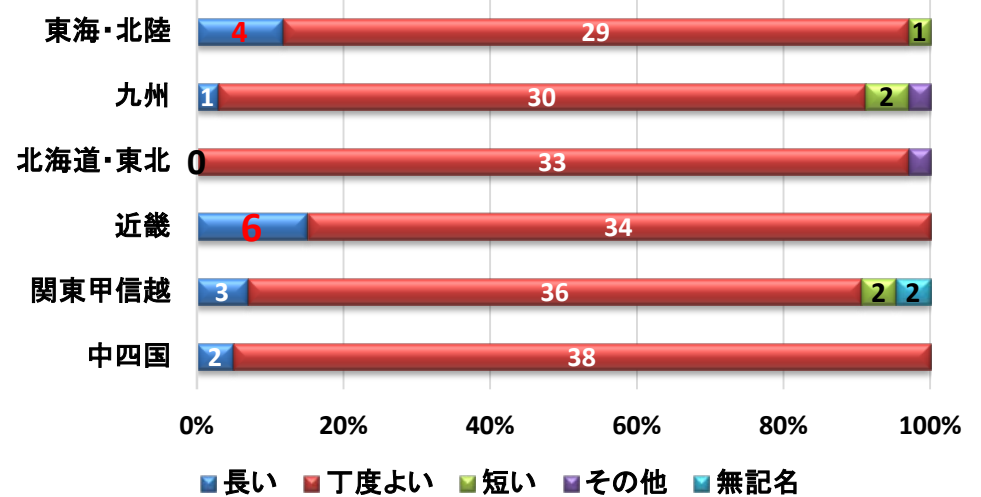
個別の時間（室・指標・拠点病院・疫学）

肝炎室は長い↑も短い(中核市)・近畿/東海は待てない？↑ 道・東北は時間に不満無

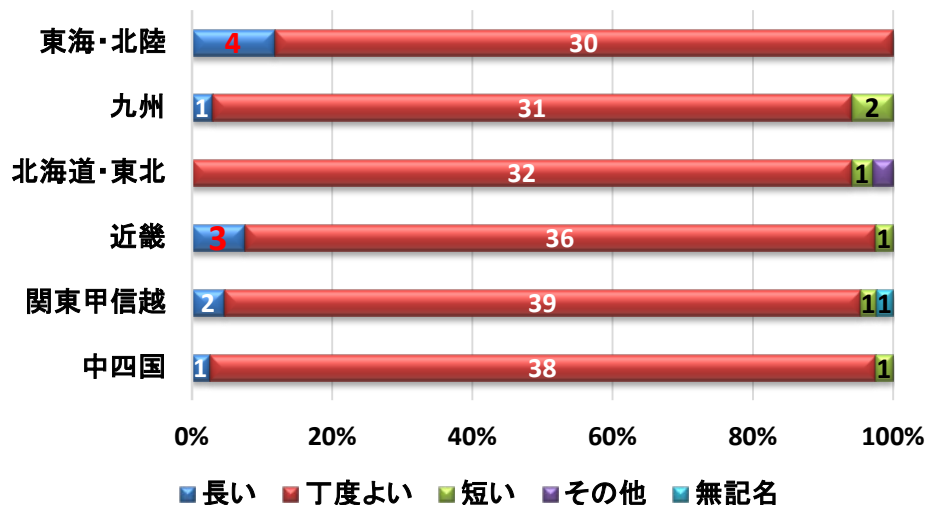
室



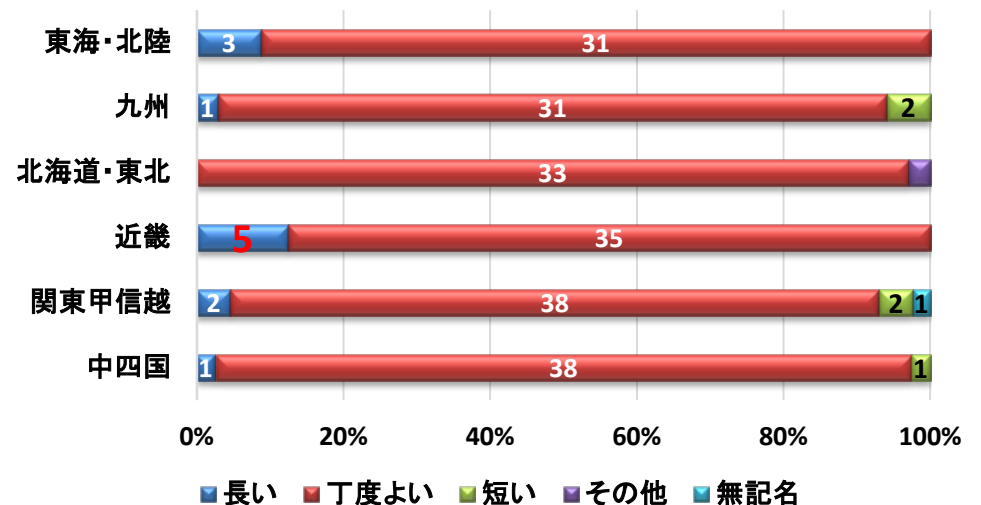
指標 (15分)



拠点病院 (7分)



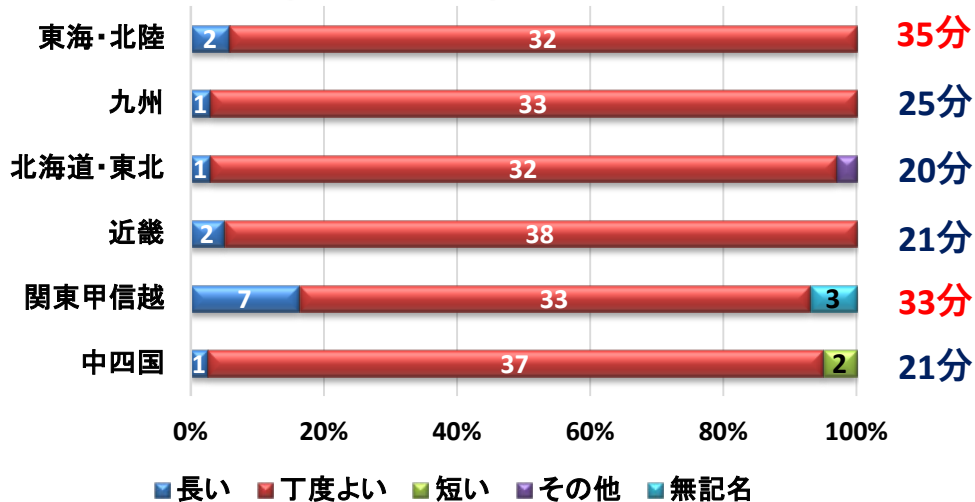
疫学 (18~20分)



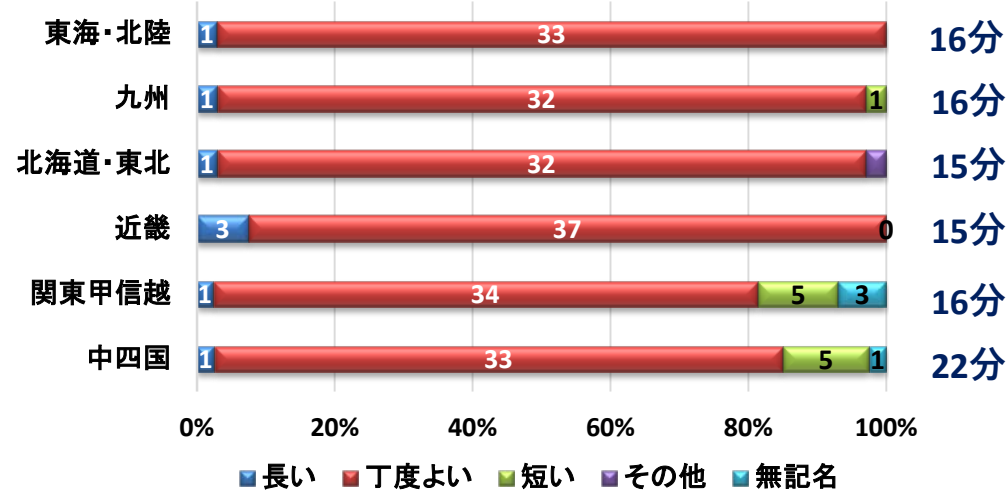
個別の時間（拠点病院事例・自治体事例・総合討論）

拠点病院事例が時間超過者 総合討論は35～40分？（無記名者が多い）

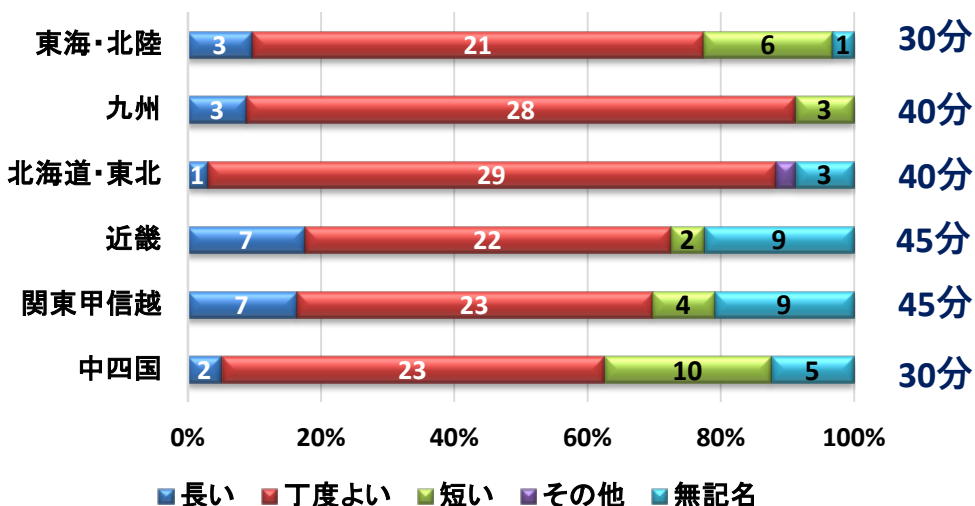
拠点病院事例(20分予定)



自治体事例(15分予定)



総合討論



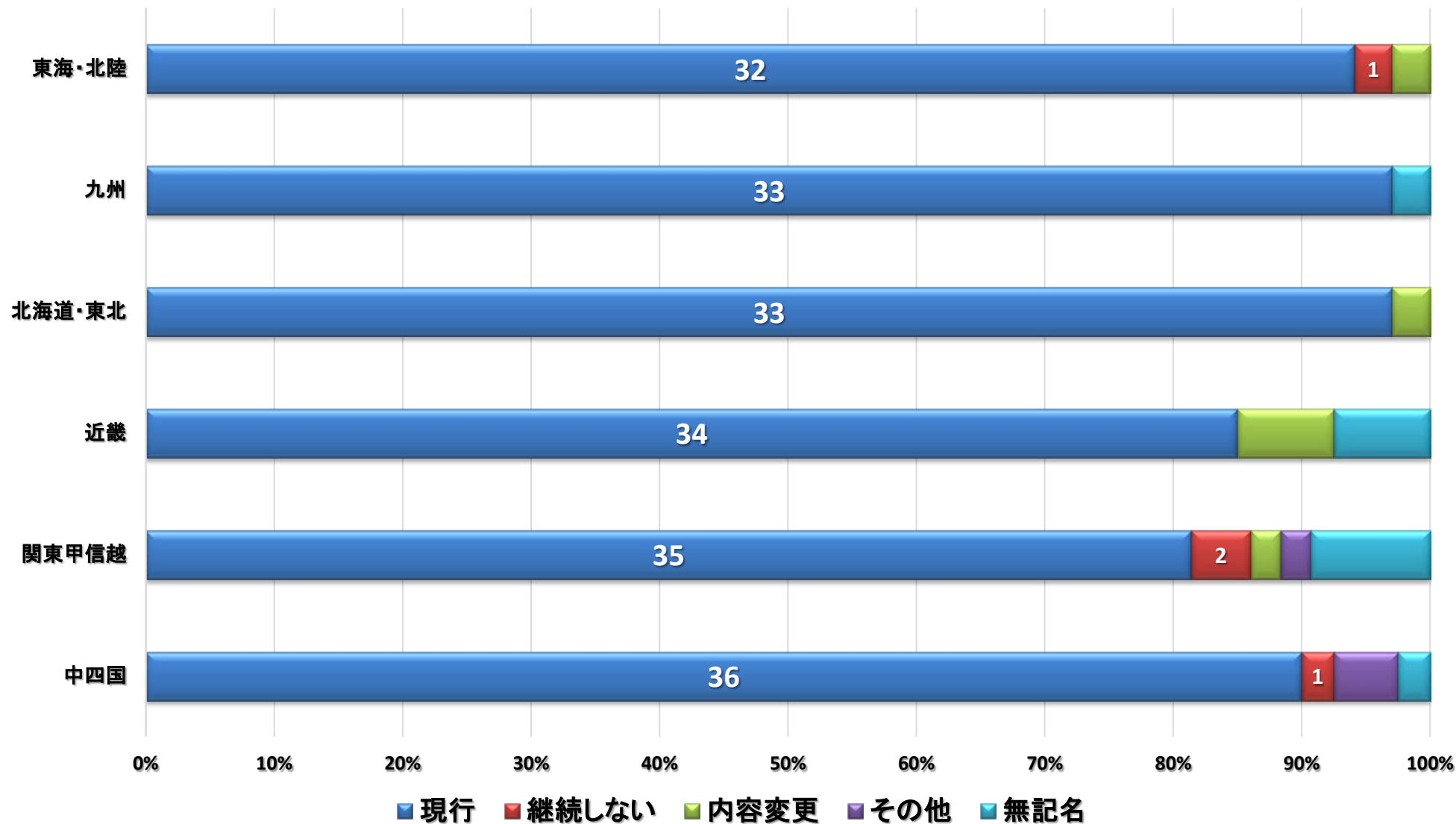
拠点：関東甲信越、東海・北陸が超過
事例→活動報告とした方がbetter

自治体：中四国(広島)は時間短
関東(千葉)は時間短が満足度低下

総合討論：45分はやや長い
(九州/県2年目：全て長いと回答→
発表施設を事前に知らせて欲しい)

ブロック会議の今後

80%以上は現行通り 継続しなくてよいが4名(中四国・関東甲信越・東海北陸)



ブロック会議の今後 継続しなくてよいが4名の実際

中四国：拠点 ○○年目 医師
時間（長すぎる） テーマ（未選択）

関東甲信越：都県 ?年目
疫学（不満足） 討論（長い） テーマ（未選択） 相談内容（知らなくて良い）

関東甲信越：中核市 ○○年目 事務
室・情報C・疫学（やや不満足）→時間（短い）

東海・北陸：中核市 ○○年目 保健師

H30年の場所はダメ 駅地下が良い

コメント：現在、正規職員が1人肝炎の担当をしています。自治体職員はさらなる削減にさらされる為、非正規に担当がかわった時、出張は不可能になると思われます。将来的にTV会議とかでないと参加不能になると思われます。

（現在担当グループ員の1/2が非正規です）

ブロック会議の今後 内容変更希望

内容変更・その他のコメント

- 拠点病院？年目医師（内容はその都度変更可、頂いたdataの活用方法）
- 都県〇年目（討論、事例を長めに）
- 都県〇年目（助成を詳細に）
- 拠点病院〇年目医師（議事項目を減らして内容を濃く）
- 拠点病院〇年目医師 全国会議と異なったブロック独自の問題について
- 拠点病院〇年目医師 ブロック毎に行う特徴を出して欲しい

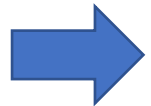
地方公共団体からのコメント

県：

助成、検査、肝がん等業務ごとにグループ別にしてそれぞれの悩みや対策を共有したいです。

政令中核市：

今年度から肝炎担当になったため、初参加です。非常にためになりました。私の理解不足もありますが、もう少しゆっくり詳しく伺いたいお話がたくさんありました。半日では難しいかもですが、2日開催にして2日にわけてもいいのかと思いました。または朝から1日とか。開催地、開催日程は予算確保の都合、早めにわかると嬉しいです。



ブロック別で討論内容決定は？

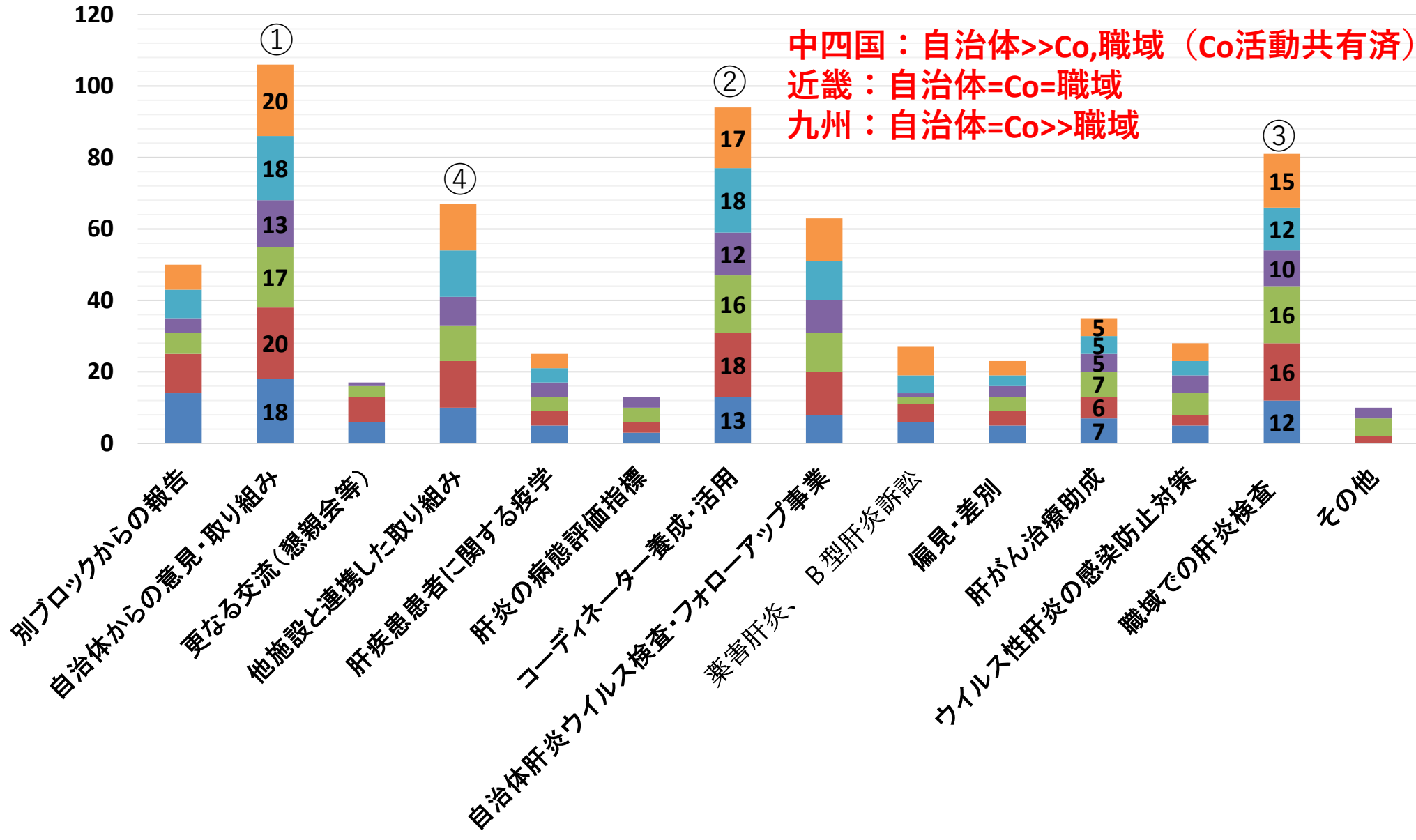
ブロック会議以外でも各地域で会議・政令中核市には別対応

取り上げて欲しいテーマ

自治体からの意見＞肝co＞職域の要望が高い（ブロックによって要望変化有）

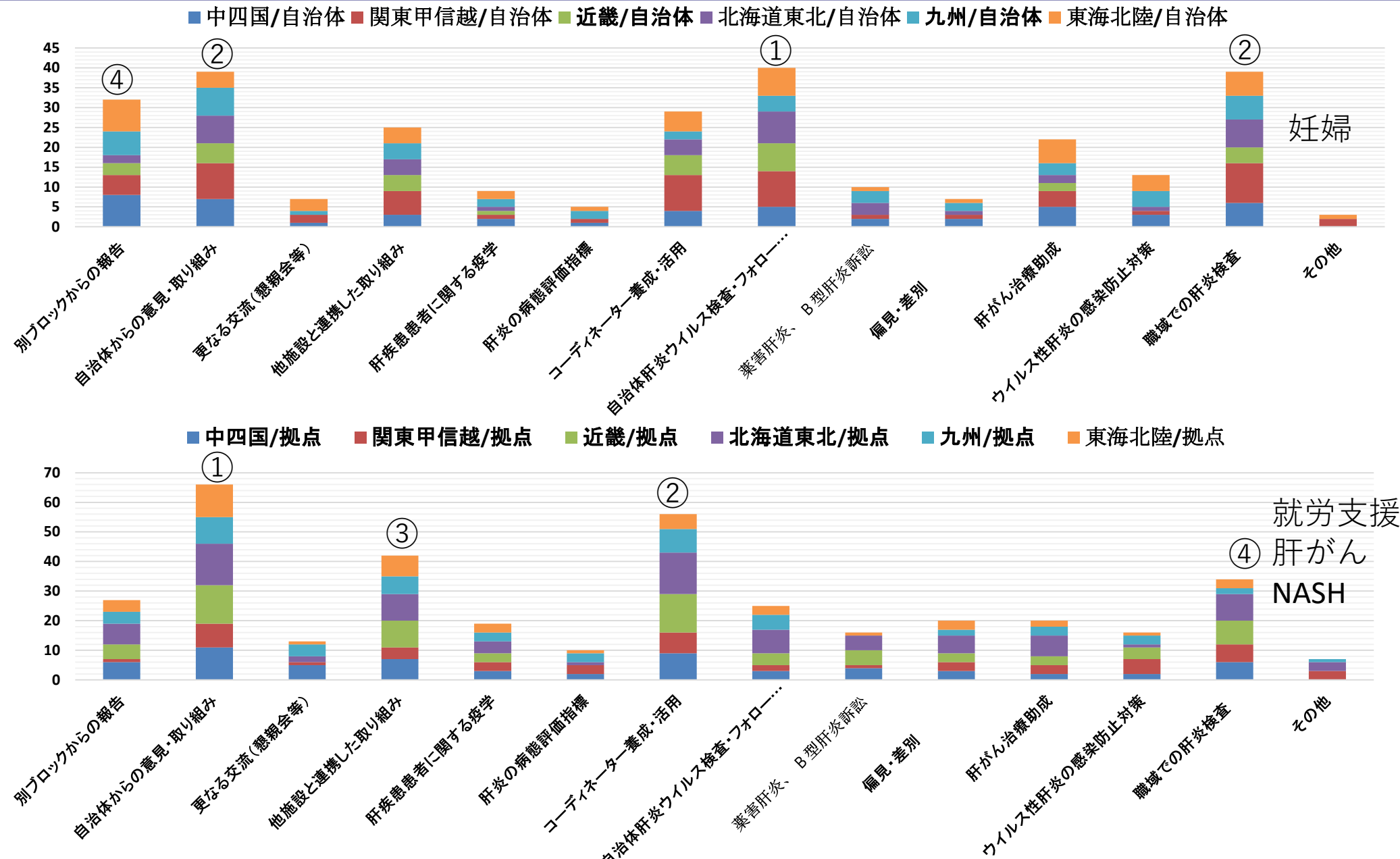
■ 中四国 ■ 関東甲信越 ■ 近畿 ■ 北海道東北 ■ 九州 ■ 東海北陸

中四国：自治体>>Co,職域（Co活動共有済）
近畿：自治体=Co=職域
九州：自治体=Co>>職域

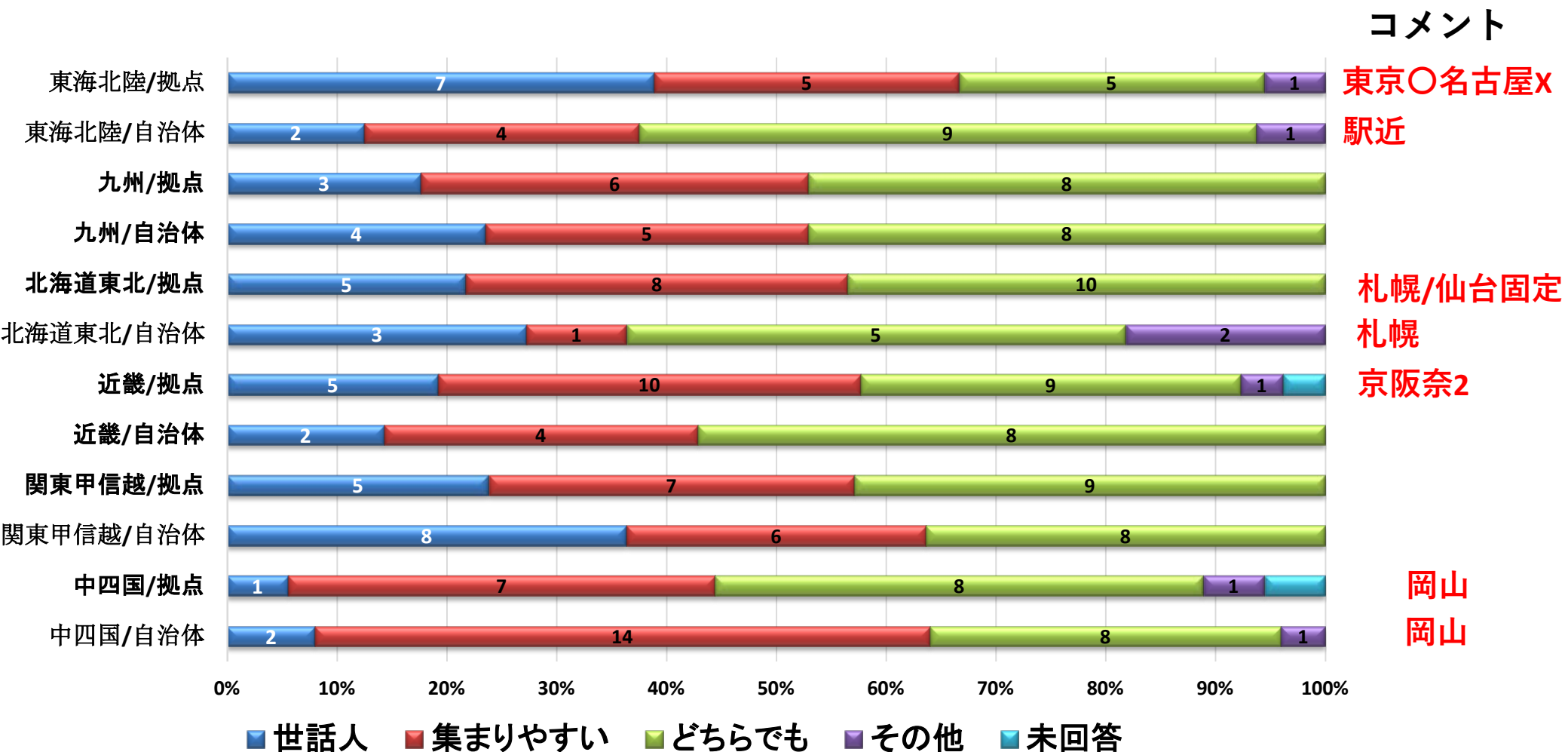


取り上げて欲しいテーマ（自治体/拠点別）

自治体からの意見が1位・職域も両者より要望↑（自治体:follow up 拠点:Co の要望多）



開催場所 ブロックによって考え方が異なる（中四国は世話人場所を望んでおらず、関東甲信越・九州は世話人場所でOK、近畿・北海道は集まりやすい都市）



注1：中四国は3年連続岡山開催・関東甲信越は世話人地で開催＋事例も世話人施設
→来年度は徳島で選定中も各地方公共団体・拠点病院に開催日を内諾中

注2：近畿は昨年奈良開催から政令市・中核市の参加が低下

中四国ブロック保健所政令市の出席状況

△九州ブロック参加

	世話人	開催地	岡山市	倉敷市	広島市	呉市	下関市
2016	愛媛大	愛媛県松山市	○	○	×	×	△
2017	岡山大	岡山県岡山市	○	○	×	×	○
2018	高知大	岡山県岡山市	○	○	○	×	○
2019	山口大	岡山県岡山市	○	○	×	×	○
	世話人	開催地			高松市	松山市	高知市
2016	愛媛大	愛媛県松山市			×	○	×
2017	岡山大	岡山県岡山市	鳥取市	松江市	×	×	×
2018	高知大	岡山県岡山市	○	×	×	×	×
2019	山口大	岡山県岡山市	○	○	×	×	×

**岡山固定でも来ない広島(唯一の政令市)・呉市
四国の中核市の参加無→来年徳島で変化は？**

関東甲信越ブロック保健所政令市の出席状況

	世話人	開催地	宇都宮市	前橋市	高崎市	さいたま市	越谷市	川崎市		千葉市	船橋市	柏市	
2016	山梨大	山梨県甲府市	X	X	X	X	○	X		X	○	○	
2017	虎の門	東京都千代田区	○	○	X	○	○	X	川口市	○	○	○	
2018	新潟大	新潟県新潟市	○	○	X	X	○	X	○	○	X	○	
2019	信州大	長野県長野市	○	○	X	X	X	X	○	X	X	○	
	世話人	開催地	八王子市	町田市	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	藤沢市		新潟市	長野市	
2016	山梨大	山梨県甲府市	X	○	○	○	○	X	X	茅ヶ崎市	○	X	
2017	虎の門	東京都千代田区	○	○	○	○	○	X	○	○	○	○	
2018	新潟大	新潟県新潟市	X	X	○	X	○	○	X	X	○	X	甲府市
2019	信州大	長野県長野市	X	X	当日欠席	X	○	○	X	X	○	○	○

高崎・さいたま市・川崎市にアプローチ
新潟・長野開催となり 連続欠席も目立つ

近畿ブロック：市の参加状況は昨年から低下している！

（西宮・奈良・和歌山は3年連続）→開催地の問題だけではない？

	開催地	大津市	京都市	大坂市	堺市	高槻市	東大阪市	枚方市	豊中市		
2016	大阪府大阪市	○	○	×	○	○	○	○	○		
2017	大阪府大阪市	○	○	○	○	○	○	○	○	八尾市	
2018	奈良県橿原市	×	○	○	○	○	○	○	×	○	寝屋川市
2019	福井県福井市	×	当日欠席	○	○	○	×	○	×	×	×

	開催地	神戸市	姫路市	西宮市	尼崎市	奈良市	和歌山市	
2016	大阪府大阪市	○	○	○	○	○	○	
2017	大阪府大阪市	○	○	×	○	×	×	明石市
2018	奈良県橿原市	○	○	×	○	×	×	×
2019	福井県福井市	○	×	×	×	×	×	×

北海道・東北ブロック保健所政令市の出席状況

	世話人	開催地	札幌市	函館市	小樽市	旭川市	青森市		盛岡市
2016	山形大	山形県山形市	×	×	×	×	×	八戸市	×
2017	北海道大	北海道札幌市	○	○	○	○	×	×	×
2018	岩手医科	岩手県盛岡市	×	×	×	×	×	○	○
2019	札幌医科	北海道札幌市	○	○	○	○	×	×	×

	世話人	開催地	仙台市		秋田市	郡山市	いわき市	
2016	山形大	山形県山形市	○		×	○	○	
2017	北海道大	北海道札幌市	○		×	×	×	福島市
2018	岩手医科	岩手県盛岡市	○	山形市	×	○	○	×
2019	札幌医科	北海道札幌市	○	×	×	×	×	×

4年連続は仙台市のみ
北海道と東北を分けることに限界？

九州ブロック保健所政令市の出席状況

	世話人	開催地	北九州市	福岡市	久留米市	大牟田市	長崎市	佐世保市
2016	久留米大	福岡県福岡市	○	○	○	○	○	○
2017	鹿児島大	鹿児島県鹿児島市	×	○	×	×	×	×
2018	熊本大	熊本県熊本市	○	○	×	○	×	×
2019	佐賀大	佐賀県佐賀市	○	当日欠席	○	×	×	○
	世話人	開催地	熊本市	大分市	宮崎市	鹿児島市	那覇市	
2016	久留米大	福岡県福岡市	○	○	○	×	○	
2017	鹿児島大	鹿児島県鹿児島市	○	○	×	○	×	
2018	熊本大	熊本県熊本市	○	○	×	×	×	
2019	佐賀大	佐賀県佐賀市	○	○	×	×	×	

長崎市・宮崎市・鹿児島市・那覇市をどうするか？

東海・近畿ブロック保健所政令市の出席状況

	世話人	開催地	富山市	金沢市	岐阜市	静岡市	浜松市
2016	藤田大	愛知県名古屋市	X	X	X	X	○
2017	順天堂静岡	静岡県沼津市	X	X	X	○	○
2018	金沢大	石川県金沢市	X	○	X	○	○
2019	名古屋市大	愛知県名古屋市	X	X	X	○	○
	世話人	開催地	名古屋市	豊橋市	岡崎市	豊田市	四日市市
2016	藤田大	愛知県名古屋市	○	○	○	○	X
2017	順天堂静岡	静岡県沼津市	○	○	○	○	X
2018	金沢大	石川県金沢市	○	○	○	X	X
2019	名古屋市大	愛知県名古屋市	○	○	○	○	○

富山市・金沢市の参加が困難（特に前者）

来年度世話人へ（出来るだけ地方公共団体にも告知を）

本年度ブロック会議終了後から下記を検討

- ①地元の地方公共団体と候補日を決定（水曜日は外す）
 - ②その後、拠点病院等に候補日を連絡
 - ③数日を情報センターに連絡→肝炎室へ
- 注；候補日は9月末～10月、午後4時間
- ④候補日は内示（拠点病院・地方公共団体へ）
 - ⑤4月に入り正式に告知

本日の討論内容（30分）

4年が経過したブロック会議の今後

- ① 開催に関する感想
開催地 内容（特に総合討論内容） *時間の短縮は困難
- ② Co養成研修会・養成後研修会の内容
- ③ 地方公共団体との連携は高める方法・工夫
- ④ その他（職域・肝がん助成等） *時間があれば